

令和7年度「幼児車内放置ゼロ」巡回活動の結果について

本活動の結果につきまして、以下のとおりご報告させていただきます。

《報告事項》

平成17年8月1日からの活動開始以来、本活動も21年目を迎えました。

今年の夏も猛暑となり、熱中症にも注意しながらの取組みとなる中、例年同様、1社から複数ご提出いただいた報告もあり、本活動に対する取組みへの関心の高さと熱意が感じられました。また、特別会員、賛助会員にもご協力いただきました。

なお、平成18年、平成19年、平成23年、平成27年、平成29年、平成30年においてそれぞれ発見事例があり、平成17年からの活動開始以来、組合員10社により15名の幼児を発見しておりますが、幸いにも今年は、発見事例はありませんでした。

■活動を実施した組合員からの報告

【総括】

- ・連日危険な暑さが続き、炎天下での巡回活動も厳しいものがありました。この状況で万が一にも車内放置された場合を考えると短時間でも命の危険があると感じました。
- ・今年は北海道も春先より暑い日があったため、早めに社内啓発を行い、納品時、営業時にできるだけ巡回するよう心掛けました。
- ・年々酷暑になっているので、今まで以上に早期発見が肝心だと思いました。
- ・真夏日の増加に伴い、車内放置が命の危険に直結しているため、これまで以上に巡回活動を強化すべきだと感じました。
- ・例年猛暑となっておりますので、引き続き巡回活動を強化していきたいです。
- ・幸いにも発見事例はありませんでしたが、引き続き駐車場巡回で、微力ながら幼い命の救出に協力していきたいです。

【特記事項】

- ・立体駐車場等、暗い場所ではLEDライトを持って巡回するようにしました。
- ・ホール様と協力して巡回数を増やしたり、店内放送等での呼びかけを増やしたりしました。
- ・後方のガラスにスモークが貼られている車が多く、前方からしか確認できない状況だったので、注意深く巡回しました。
- ・日が当たる場所は特に注意して巡回しました。

本年度も「幼児車内放置ゼロ」巡回活動にご協力をいただきありがとうございました。
来年度もご協力の程よろしくお願いいたします。